

日本翻訳家協会第59回日本翻訳出版文化賞を受賞 「M. M. ドブロトヴォールスキのアイヌ語・ロシア語辞典」

アイヌ語辞典の翻訳



「M. M. ドブロトヴォールスキのアイヌ語・ロシア語辞典」

ブック印刷の株式会社アイワード（奥山敏康代表取締役社長／札幌市中央区北3条東5-5-91）グループの出版社、株式会社共同文化社が2022年11月に出版した「M. M. ドブロトヴォールスキのアイヌ語・ロシア語辞典」が2023年度第59回日本翻訳出版文化賞を受賞した。アイワードは「本づくりにあたりまえを越えた感動を」を掲げて、編集から製本まで一貫生産体制で読みやすく、伝わりやすく、美しい本を仕立てている。

「M. M. ドブロトヴォールスキのアイヌ語・ロシア語辞典」の翻訳は北海学園大学の教授であった寺田吉孝教授（現・北海学園大学名誉教授）と安

田節彦氏の翻訳によるもの。19世紀中頃迄に世に出た主なアイヌ語語彙集にある語を網羅し、原著者自らがサハリンで採録した語彙を加えた、発行当時最大のアイヌ語辞典の翻訳になっている。

原著者はロシア軍医のドブロトヴォールスキ氏で、樺太（現・ロシア サハリン）に住んでいたアイヌ民族から、リアルで生き生きとしたアイヌ語を採録したもの。

約1万1,000語を収録した世界初のアイヌ語辞典として1875年に出版した書籍の翻訳書。約150年前の生活習慣や地名も記された資料的価値も高い辞書になっている。

今回、日本翻訳家協会第59回日本翻訳出版文化賞の受賞に際し、株式会社共同出版文化社編集部の馬場康広氏から出版に至る経緯と意義についてコメントを寄せていただいた。

共同文化社・馬場康広氏のコメント

このたびは日本翻訳出版文化賞という歴史のある賞をいただきまして、大変光栄に存じます。弊社は1980年設立の札幌にある出版社ですが、このような栄誉ある賞とは今まで無縁でした。今回の受賞は、寺田吉孝先生と安田節彦氏の長年に亘る翻訳作業の賜物であり、ご尽力に少しでも報いることができ嬉しい限りです。

原書の『アイヌ語・ロシア語辞典』が出版されたのは、今から150年ほど前のこととなります。ロシア人軍医のミハイル M. ドブロトヴォールスキ氏氏が、樺太（現ロシア・サハリン）に住んでいたアイヌ民族との交流を通して採録した語を中心に約1万1,000語を収録しています。なお、ミハイル氏は辞典の完成を目前にした1874年に38歳で死去していますので、実兄のイヴァン M. ドブロトヴォールスキ氏が1875年に出版しています。

寺田先生が北海学園大学在職中（現在は名誉教授）の2022年11月に辞典を出版しました。弊社が編集を始めたのは2019年からのので完成まで4年弱で



表彰式で挨拶を述べる寺田吉孝氏

すが、先生にとっては中断をはさみ約28年の歳月を要した労作となりました。先生から伺いました経緯を掻い摘んで記載します。

1994年頃にアイヌ文化論がご専門で、北海学園大学の同僚であった藤村久和先生から翻訳の打診があり、学術的な貢献になると判断され着手。その数年後、アイヌ語とロシア語がご専門の魚井一由先生が、本書の翻訳を進められていることが分かり中断。しかし、魚井氏が2008年に急逝され翻訳は未完成となりました。2009年に寺田先生の大学時代からの友人で、ロシア語翻訳・通訳をされている安田節彦氏の協力が得られることになり12年振りに翻訳を再開。2013年末には翻訳作業が終わりに差し掛かったものの、2014年の春以降、安田氏は体調を崩され同年秋に急逝。その後、2年ほど仕事が手に付かない状態でしたが、多くの方の思いに応えるためにも強い思いで作業に再度取り組みました。

今回の辞典は、北海学園大学の紀要



寺田吉孝氏(右)と編集担当者

へ26回に分けて掲載してきたものをベースとするため、紀要の編集をお手伝いしている印刷会社アイワード（弊社グループ会社）の協力が必要で、両方の仕事を兼務している自分にご相談いただき実現することになりました。辞書本編の訳出に際しては、見開きの左ペー

ジにロシア語で書かれたアイヌ語の単語の意味を原文で掲載し、右ページにその日本語訳を載せています。この辞典にしか記録がない語彙のほか、樺太のアイヌの生活慣習なども記載し資料的価値が高いため、今後多くの研究に役立ててもらえることを願っています。

M. M. ドプロトヴォールスキのアイヌ語・ロシア語辞典

寺田 吉孝・安田 節彦 訳

M. M. ドプロトヴォールスキ 著

判 型：A5判 (210mm×148mm) 辞書製本

頁 数：1160ページ

ISBN：978-4-87739-374-8

発刊日：2022-11-10

<https://www.kyodo-bunkasha.net/items/68827146>